

平成25年11月21日  
於  
府中市立教育センター

平成25年第11回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成25年第11回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成25年11月21日(木)  
午後1時30分  
閉 会 平成25年11月21日(木)  
午後2時18分
- 2 会議録署名員  
委 員 村 越 ひろみ  
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員  
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉  
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸  
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員  
な し
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史  
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 酒 井 利 彦  
三田村 裕 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸 夫  
総務課長 澁 谷 智 生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹  
総務課長補佐 北 村 均 古 田 実  
学務保健課長 中 村 孝 一 美術館副館長 山 村 仁 志  
給食担当主幹 須 恵 正 之  
学務保健課長補佐 山 田 晶 子  
相談担当副主幹 阿 部 憲 靖  
統括指導主事 瀧 島 和 則  
指導主事 大 津 嘉 則  
指導主事 坂 元 竜 二  
指導主事 三 田 暢 夫
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 熊 坂 奈 美  
総務課事務職員 山 田 大 輔

## 議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 企画展「O JUN」の開催について
- (3) 第67回府中駅伝競走大会の開催について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成25年第11回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎傍聴許可

○委員長（崎山 弘君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 本日は、議案の審議はございません。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎報告・連絡（1）寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○委員長（崎山 弘君） 報告・連絡から始めさせていただきます。

まず、報告・連絡の1番について、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（北村 均君） それでは、資料1の寄附の採納及び感謝状の贈呈についてご報告いたします。

今回は2件でございます。いずれも周年記念に当たりまして、学校教育活動の一層の充実、発展を図るために寄附されたものでございます。

1件目につきまして、寄附の採納先は、府中市立小柳小学校でございます。寄附品は、アルミワンタッチテント1張、22万710円でございます。寄附者は、多摩川競艇運営協議会会長、竹内俊夫様で、受領日は平成25年10月18日でございます。

2件目につきまして、寄附の採納先は、府中市立府中第五小学校でございます。寄附品は、舞台幕1式、106万8,690円でございます。寄附者は、府中市立府中第五小学校創立140周年記念事業実行委員会、受領日は平成25年11月14日でございます。

府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めるときは感謝状を贈呈できることとなっておりますので、寄附者に感謝状を贈呈したいと考えております。

なお、府中市立小柳小学校に寄附をされました多摩川競艇運営協議会会長、竹内俊夫様につきましては、感謝状の受け取りをご辞退されているため、感謝状の贈呈は行いません。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（1）について、了承いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎報告・連絡（2）企画展「O JUN」の開催について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡の(2)について、美術館、お願いします。

○美術館副館長(山村仁志君) それでは、美術館から、お手元のチラシ、資料2によりまして次回の企画展について報告します。

12月21日土曜日から平成26年3月2日日曜日まで、企画展「O JUN 描く児」を開催いたします。

チラシの裏面をご覧ください。画家O JUN、1956年生まれは、生まれも育ちも東京都西部多摩地域旧保谷市、現西東京市です。現在もこの地にアトリエを持ち制作していらっしゃいます。1982年に東京芸術大学大学院油絵科を卒業し、その後、スペイン、ドイツに数年間留学したO JUN氏は、1980年代末から、ユニークなパフォーマンスを発表するなど多彩な表現活動を始められています。また、1990年代末からは、鉛筆、クレヨン、水彩、油彩などを使った斬新で印象的なイメージの絵画を描き始め、若手作家や美術界の注目を集め、その後も第一線の画家として活躍していらっしゃいます。東京芸術大学、女子美術大学の非常勤講師、八王子の東京造形大学の特認教授を務めた後、2009年からは東京芸術大学の油絵科の準教授を務めていらっしゃいます。また、後進の育成にも尽力していらっしゃいました。

これまでの30年に及ぶ代表的なシリーズ110点とともに、2012年末から描き始められた新作を40点、合わせて150点を一挙に公開いたします。

また、下のほうをご覧ください、同時開催の公開制作では、体全体を使ったダイナミックなアクションペインティングで知られる画家、また映像作家、石田尚志さんを紹介します。石田さんは、絵画を描く画家であると同時に、それを記録する映像作家でもあります。現在は、多摩美術大学の映像演劇学科の準教授です。

期間中、アーティストトーク、学芸員のギャラリーガイド、O JUNと石田尚志の対談など、さまざまなパフォーマンス、イベントを予定しております。

なお、2014年1月4日土曜日と5日日曜日につきましては、出品作品の一部展示替えを行うため、臨時休館としますことを報告いたします。

新しい作家の作品を全く新しい視点で捉えるチャンスでございますので、ご案内申し上げます。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) では、報告・連絡の(2)について、了承いたします。

————— ◇ —————

◎報告・連絡(3)第67回府中駅伝競走大会の開催について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡の(3)について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) それでは、生涯学習スポーツ課より、第67回府中駅伝競走大会の開催につきまして、お手元の資料3に基づいてご報告いたします。

毎年、府中市陸上競技協会と共催して実施しております府中駅伝競走大会を、本年度の2月11日に府中多摩川かぜのみちで開催いたします。

本大会は大変長い歴史のある大会ですが、参加チーム数の推移を見ましても今なお発展し続けているところでございます。中学校の部では、平成23年度に男女合わせて66チームの参加でしたが、24年度には80チームの参加があり、全体としては291チーム、1,455人もの選手が集まり、大変盛り上がりのあるレースとなりました。

なお、昨年より、スタート地点などの見直しを行い、郷土の森庭球場北側駐車場に移したと、また、かねてより危険が叫ばれていた自転車利用者との接触事故防止のため、自転車通行規制を行うことにしたことにより、安全面において一層注意を払って実施してまいります。

また、昨年度までエントリー選手全員に参加賞を贈呈しておりましたが、スタート地点の変更及び中学の部参加チームの急増等による経費増の対応のため、今大会より、中学校の部エントリー選手の参加賞につきましては、贈呈しないこととなりました。

最後に、参加チームの募集につきましては、11月17日号の広報にてご案内をしているほか、各中学校長宛てにもご案内をしたところでございます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。齋藤委員。

○委員(齋藤裕吉君) 昨年度も同じだったのかもしれませんが、チーム編成のところ、なお書きのところ。「複数の中学校の生徒で編成されたチームは認めない。」とあるのですけれども、このところの理由というのでしょうか、これはどういうことでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) こちらの大会につきましては、学校対抗で行っているものでございますので、そういったことからの理由で、複数中学校の編成チームは認めないという形になっております。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) 大体わかりました。これまでそういう要望というのはあったんですか。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) 府中駅伝競走大会においては、要望というか、お声は確かにあったところはございますが、どうしてもというか、そういったところのご意見までは伺ってはおりません。

以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) わかりました。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見。松本委員。

○委員(松本良幸君) 事故等がないようということでご配慮いただいているということですが、昨年度の大会では、特に接触とか、あとは健康面で、一般の部でAEDが必要になってしまったりとか、そういうような事例はあったのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) まず、体制を変えたということで、おかげさまで特に混乱、けが等もなく終了いたしました。また、AED等の対応等についてもございません。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。よろしいでし

ようか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) では、報告・連絡の(3)について、了承いたします。



◎その他

○委員長(崎山 弘君) では、その他になるのですけれども、その他で何かございますでしょうか。

ちょっと私から1つお伺いしたいことがあるのですけれども、学校教育法施行令が9月1日で改正されて、現在、特別支援学校に通学している児童・生徒が、状況によっては府中市立小・中学校に転属できることが明記されました。それに伴って、市町村教育委員会は、保護者、本人に対し、十分情報提供しつつ、本人、保護者の意見を最大限尊重し、本人、保護者と市町村教育委員会、学校等が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を行うことを原則とし、最終的には市町村教育委員会が決定することが適当であるということが基本的な前提として位置づけられているということが、文部科学省からの通知で記載されているわけです。

今回、改正された直後でもあるので、例えば現在1年生で、特別支援学校に入学したけれども、障害の程度に変化はないとしても、低学年のうちには兄弟がいる地域の学校に戻りたいなどの希望が出てくることは十分予想されると思います。

現時点で、そのような申し出がまず出てきているかどうか、また、変更での児童・生徒がいる場合、教育委員会と本人、保護者が、こういうケースをする場合はどこになるか、多分、現在就学相談を行っている指導室が担当となるのかと思うのですけれども、どこが行うか。また、これは相当しっかりと意見聴取などを行わなければならないと思うのですけれども、担当部署に一義的に綿密な対応が可能になっているかどうか。今回、この9月に変更が行われた後、何か対応が変わったかどうか、ちょっともしあればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○相談担当副主幹(阿部憲靖君) ご質問に順次お答えしてまいります。

まず最初に、そういう申し出があるかどうかについてですけれども、今現在、そういった申し出はございません。

2つ目の、そういったケースが出た場合、どちらで対応するかですけれども、指導室の教育センター就学相談で対応することになります。

そして次に、人員ということですが、ただいまの就学相談につきましては、相談員8名いまして、その現状の中で対応していくことになると考えております。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) 特に今年が初めての年になるので、そういう方が多数出てこれると確かに、今、就学相談もちょうどやっている時期だと思うので大変かなと思ったのですけれども、現時点で報告がないというのだったらまず問題ないと思いますが、ただ、これから多分周知、子供たちも親にも知られてくると思うので、もしかしたら申し出が出てくるかもしれない。多分東京都を経由してくるようになっていくと思うのですけれども、適宜適切な対応をしてもらい、特に私は小児科医として、特に最近、軽度発達障害の方が増えてきて、障害の程度

は変わらないにしても、やはり小さい子の、特に兄弟が5年生、6年生にいるから、やはり1年生で一旦特別支援に入ったけれども、戻ってきたいという子が出てくるような感じもするので、もしそういうケースがありましたら適切に対応していただければと思っています。

もう1点ですけれども、セカンドスクールも無事終了してうれしく思うのですが、実際、小児科を受診する小学校、現在5年生によく聞いているのですけれども、大体、みんな一様に楽しかったという声だと思しますので、慣れてくると事故も起きやすくなる場所ですけれども、各学校並びに事務局が適切に対応していただいたおかげと感謝しております。

あと1点、子供からの情報として気になったことがあったのですが、ぜんそくの薬は持参したのだけれども、内服薬は看護師さんが管理してくれたのだが、吸入薬については対応がなかったことで吸入しなかったという子供がいたんですね。子供からの報告なので、実際にどういう状況だったかは私は把握していません。実際に、以前教育委員会でセカンドスクールを視察したときに、投薬している看護師さんを見ていましたので、きちんとやっているなと思っていたのですけれども、吸入薬をどのように扱っていたかはちょっと私も覚えていないんですね。子供のぜんそくの薬、ぜんそくの子供にとって、吸入薬は内服と同時に非常に重要な薬なので、ちょっと現状どうだったのかを確認していただいて、来年度に向けて、もしそういうことがあるのだったら、きっちり対応をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

多分、吸入だからだめということは今のところないですよ。どうでしょうか。

○相談担当副主幹（阿部憲靖君） 特に看護師のほうも、吸入はやらないとかという形での契約等はしておりませんのでないと思うのですけれども、ちょっとその辺、事実関係を確認させていただいて。

○委員長（崎山 弘君） そうですね、それで結構です。私も子供から聞いただけなので、ただ子供は、自分がやらなかった理由としてそうってしまったということも往々にしてあるので、別に非難するわけではないのですけれども、もしそういう事実があるなら対応しなければいけないかなと思って伺いしただけです。

ほかに、その他で何かございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、よろしければ、教育委員報告に移りたいと思います。



#### ◎教員委員報告

○委員（齋藤裕吉君） それでは、前回の定例教育委員会以降の行動について、まず最初に、齋藤から報告をいたします。

10月のことになります。10月18日金曜日ですけれども、南町小学校の算数の研究発表会に参加いたしました。「筋道を立てて考え、表現する子の育成」という研究テーマを掲げて、算数の授業づくりの基礎基本にかかわる研究と実践を大変地道に積み上げていった、その研究成果の公開ということでありました。教材や発問の工夫とか、それから子供たちの学習の様子から、子供たちも先生方も着実に力をつけているなど、子供は学力、先生方は指導力をつけているように思われました。

10月19日土曜日ですけれども、市内の小・中学校の管理職の先生方とP連の役員の皆さま



ん方、そして市の教育委員会のメンバーとの3者対抗ソフトボール大会の後の懇親会に出席いたしました。例年のごとくで大変なパワーを感じる会でした。

10月20日日曜日でしたけれども、午前中に武蔵府中熊野神社の古墳まつりを見学いたしました。あいにくのどしゃ降りといましようか、雨で大変でした。各団体の出展の様子を見せていただいて、午後まではちょっと滞在できませんでした。

10月25日金曜日ですけれども、この日は、南白糸台小学校の創立40周年記念式典がございまして、出席いたしました。厳肅な雰囲気の中で、子供たちの態度が非常に立派であることに感心いたしました。式の始まる前から物音一つ立てないほどの静粛さの中で式典が進められていきました。ただ、式典終了後の5、6年生の子供たち全員による合唱、また合奏、これは大変に感動的でした。子供たちの心が一つになっているということが、その演奏にあらわれていたように思いました。

以下、今回は周年式典が多くございましたので、ほかの委員の皆様方と重なりが多いと思いますので、私からは、以下はポイントだけをお話しさせていただきます。

11月1日金曜日ですけれども、府中第三小学校の創立60周年式典に出席いたしました。

次に、11月7日木曜日ですけれども、府中第四小学校創立140周年記念式典に出席いたしました。

それから次、11月8日金曜日ですけれども、住吉小学校の研究発表会に出席いたしました。ここでは、「住吉に誇りを持ち夢や目標に向かって共に挑戦する児童の育成」というテーマを掲げての特別活動の研究発表でございました。特別活動というものの基礎基本を踏まえた学級会、そしてまた、学級活動の授業を全学級で公開しての発表ということで、子供たちが大変活発に話し合っている様子に、これまでの指導の成果があらわれているように思われました。

11月9日土曜日ですけれども、府中第一小学校の創立140周年記念式典に出席いたしました。委員長長の職務代理として教育委員会のお祝いの言葉を申し述べました。

11月16日土曜日、小柳小学校創立40周年記念式典に出席いたしました。

11月17日日曜日、生涯学習センターで武蔵府中青色申告会主催の「第一回小学生の税の書道展」の展示会と表彰式に出席しまして、審査・講評を申し述べてまいりました。市内の小学校から2、702点の応募があったということで、大変すばらしいことだと思いました。展示されている作品も、それぞれの個性と味があって、書写あるいは書道のよさというものを改めて感じました。また、租税教育の大切さということについても改めて考える機会になりました。

私からは以上でございます。

**○委員（村越ひろみ君）** では、村越から報告させていただきます。

まず初めに、周年式典行事の報告をさせていただきます。

10月25日金曜日、南白糸台小学校40周年記念、11月1日、第三小学校60周年記念、11月7日、第四小学校140周年記念、11月9日、第一小学校、午前中はわかば鼓笛隊の50周年の式典等、午後、第一小学校140周年の式典に伺いました。そして、11月16日は小柳小学校40周年記念に伺いました。

今回、5校に出席させていただいた中で、三小と小柳小について報告させていただきます。

三小は60周年ということで、子供たちは姿勢よく式に臨み、児童の言葉から三小での学校の様子がよく伝わってきました。また、記念演奏の合唱、合奏も見事でした。

小柳小は40周年ということで、府中市の小学校では歴史の浅い学校の一つですが、地域の方と密着した学校であると感じました。記念演奏は大変迫力があり、拍手が鳴りやみませんでした。

また、今年度は、1学期に行われた十小も含めると7校の小学校が周年記念の年となります。昨年度までに周年式典の開催の仕方についていろいろ検討され、式の流れとしては短縮にもなり、子供たちへの時間的負担は解消されたのではないかと思います。全校の校長先生方やPTA会長の皆さんが集まることなくなくなってしまったということがあり、それは参加することへの負担軽減にはなったと思いますが、私の個人的な感想ですが、10年に1度の式典なので、一同で祝う機会であるから、ちょっと寂しいかなという感じも受けました。ともあれ、それぞれの学校で周年を祝い、一つのけじめというか節目の機会になれば、それが一番だと思います。

それでは、時系列順の行事参加の報告をさせていただきます。

まず、10月18日午前中に府中第五中学校の合唱際に伺いました。午前中で1年生の部しか聞けなかったのですか、1年生でありながら、とてもよく声が出ていて、上級生が見本になっているという雰囲気があらわれていたように思います。

同日の午後、南町小学校算数の研究発表会に伺いました。子供たちはとても明るく、授業も積極的に受けている姿を見ることができました。その授業の中で算数の能力別授業があったのですが、やはりその子、その子に合った授業があるということが改めて大切なことだと感じました。また、算数を楽しく学ぶことが、すべてにおいて楽しさを学ぶことにつながるという、とてもユニークで楽しい講演会も印象的でした。

10月19日土曜日、PTA連合会主催の3者対抗ソフトボール大会と懇親会に参加しました。昨年からの参加で、今年はピッチャーとして久しぶりに投げさせていただきました。P連東チームの伝統である勝ちにこだわらない全員参加のチームに勝利し、昨年大差で負けてしまった校長・副校長先生のチームとの決勝戦に挑み、見事リベンジを果たさせていただくことができました。懇親会では、この府中の伝統的P連行事を続けていただいていることに感謝し、また3者が懇親を深めることができたと思います。

10月27日日曜日、小柳小の運動会に行ってみりました。雨で延期になりましたが、この日はさわやかな秋晴れとなりまして、文字どおりの運動会日和のもと、子供たちは伸び伸び演技、競技に取り組む姿を見ることができました。保護者席はもとより、敬老席も多くの方でいっぱい、観戦者に見守られていました。

11月2日、「府中の教育を語る会」に参加しました。「魅力ある学校生活を目指して－いじめのない学校、いじめを絶対赦さない－」というテーマで、前半は、矢崎小の児童から矢崎小の魅力をたっぷり聞くことができ、また、中学校の生徒会リーダー研修会の2つのグループの生徒たちによる寸劇を交えながら、真剣にいじめについて考え、自らなくしていこうとする姿勢をうかがうことができました。府中の児童・生徒のすばらしさを感じるとともに、ぜひリーダーになる子供たちの思いをすべての子供たちに伝えてほしいし、また、すべての子

供たちが、いじめのない学校にするためにリーダーの思いを受けとめてほしいと思いました。

また、後半は、府中市の教育委員として以前お世話になりました有村久春先生のご講演をいただきました。物の見え方、見方を変えることの大切さ、また、いじめられた子、いじめた子の気持ちを受けとめ、子供に真剣に向き合うことが大切であること、そして、いじめをなくす授業を年に数回行い、子供の意見を取り入れられる子供中心の学校にしていくことが、いじめのない学校にするための予防策につながるであろうというお話を伺い、とても有意義な時間を過ごすことができました。ぜひ先生方には、この講演でのさまざまな手法、策を取り入れていただき、いじめのない学校づくりを目指していただきたいと思いました。

11月4日、第7回府中市小学生タグラグビー大会「フォーリスカップ」に伺いました。朝のうち小雨がちらつく中で始まった大会でしたが、子供たちはとても張り切って参加していました。また、年々参加チームも増加の傾向にあるようで、とてもタイトなスケジュールでの試合運びを運営されていました。私はルールがよくわからずいたのですが、高野市長もお見えになっていたのも、ちょっといろいろお話を聞くことができ、タグラグビーは子供から大人まで安全に行うことができるスポーツだと思いました。応援する保護者も活躍する子供たちの励みになったことと思います。

11月15日金曜日、府中第十小学校で行われました第52回全国体育研究大会東京大会第7分科会表現活動領域部会というものがあまして、そこに参加させていただきました。実証授業とノートルダム清心女子大学の講師の安江美保先生の指導・講評がありました。実証授業では、3年生と6年生の表現運動、表現というものでした。表現の授業というのを初めて拝見しましたが、どちらの学年も、先生の声かけ、子供たちへの言葉かけがとてもテンポよくて、その声に乗って子供たちはとても楽しそうに取り組んでいました。そのものになりきって表現する姿がとても印象的でした。正直、6年生が恥ずかしがることもなくその表現の授業を受けていることにも驚きました。また、表現運動というのは、運動が苦手な子供も楽しんで、積極的に参加できることが何よりだと思いました。

では最後に、11月17日、公益社団法人武蔵府中青色申告会主催の「第一回小学校税の書道展」展示会及び表彰式に伺いました。この書道展には審査から参加していたので、賞を決めたものの、選んだ責任を果たしているのかどうかもとても不安でした。それでも、展示作品を見て、どれも力作で、第1回の書道展としては大成功だったのではないかと思います。また、審査に参加できてよかったとも思いました。これを機に、また今後継続され、子供たちが税への関心を深めてもらえたら開催する意義が見えてくるのではないかと思います。

以上です。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

同じく、まず周年記念式典の出席の報告ですが、10月25日、南白糸台小学校、11月1日、第三小学校、11月7日、第四小学校、11月9日、第一小学校、11月16日、小柳小学校の5校へ伺ってまいりました。各学校ともしっかりと準備をされていて、式典進行並びに児童の態度もすばらしいものでした。その中で、第一小学校では、同日午前中、わかば鼓笛隊50周年の記念式典も行われ、周年実行委員会をはじめ、多くの協力団体のご支援をいただき、新調された制服に身を包んだ6年生の記念演奏は、とても感動的でした。各学校で周年

式典記念事業開催に向け、多くのご協力をいただいた教職員並びに保護者、地域関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

次は、研究発表への出席ですけれども、10月18日、南町小学校、「筋道を立てて考え、表現する子の育成」を主題にした発表を聞かせていただきました。教室では、先生の指導解説で、回答を導き出し、手を挙げて発表する児童の誇らしげな笑顔が印象的でした。

11月8日、住吉小学校「住吉に誇りを持ち夢や目標に向かって共に挑戦する児童の育成」を主題に、特別活動についての発表を聞いてまいりました。特別活動は算数や国語などとは少し違う学習になりますが、いろいろな側面から取り組まれ、学校・教室を小さな社会と捉えた指導は、人づくりの上でとても評価できるものだと思います。発表後に行われた杉田先生の講演では、資料写真・映像に加え、直前に撮影した教室での指導風景も交えてお話しいたさき、特別活動は、子供たちの態度をつくり、集団をつくる大切なものであるとわかりやすくご説明くださいました。

11月15日、第十小学校で行われた全国学校体育研究大会東京大会表現運動領域部会の発表に出席してまいりました。主題は「仲間とかかわり合いながら、なりきって踊る楽しさを味わう表現運動の学習」で、一般的に考える体力づくり志向の体育ではなく、子供たちの持っている感性や表現力を重点にした指導方法を研究されていて、とても興味を持ちました。運動が苦手な児童でも主役になることが可能な内容は、体育の違った魅力を引き出すことができるのではと感じました。

そのほかといたしまして、11月2日、生涯学習センターで開催された「府中の教育を語る会」に出席いたしました。矢崎小学校5、6年生、中学校生徒会リーダー研修会参加代表者による「魅力ある学校」というテーマで発表がありました。どちらも映像や寸劇を交えて、とてもわかりやすく立派な発表でした。後半では、帝京科学大学の有村教授による「魅力ある学校生活を目指してーいじめのない学校、いじめを絶対赦さないー」をテーマとした講演を聞かせていただきました。

11月4日、陸上競技場で開催されましたラグビー大会「フォーリスカップ」開会式に出席いたしました。小雨まじりの寒い日でしたが、児童たちは練習の成果を発揮し、各フィールドで熱戦を繰り広げていました。当日ご協力いただいた各団体の皆様に深く感謝申し上げます。

11月14日、平成25年度第3回教育委員会訪問で中央図書館、第二小学校、みどり幼稚園へ伺ってまいりました。中央図書館では、充実した市民サービスの内容やシステム化された蔵書管理の状況等を佐々木館長よりお聞かせいただきました。今回の訪問で、ICタグを利用した書籍の管理や各学校へのテーマ別貸し出しなど、今まで知らなかった図書館業務を知ることができました。これだけ立派な資産ですので、より多くの市民が活用していただけるよう願っています。

次に訪問した第二小学校では、児童数958名の大規模校でありながら、平原校長先生を中心に、2名体制になった副校長先生や教職員の皆さんが協力して、落ちついた学校運営をされている印象を持ちました。特に、引き取り訓練を全員が下校するまで行うなど、非常時を想定した訓練姿勢は、全市的に展開していただきたいと思いました。

最後に訪問したみどり幼稚園では、ドングリや小枝を使った工作に夢中になる園児たちが迎えてくれました。園舎については少々老朽化が感じられましたが、教室や園庭で元気に活動する園児たちは皆、笑顔で生き生きとしていました。平原園長先生から教育目標等の説明を受け、動植物を育てる活動や第二小学校との交流を図る活動などに力を入れていることがわかりました。

最後に、11月17日、青色申告会主催の「税の書道展」表彰式に出席してまいりました。入選した作品は、どれも力のこもったすばらしいものでした。また、表彰式では、お忙しい中、高野市長をはじめ校長先生方もご出席されておられ、受賞された児童たちも、きっと大きな自信になったことと思います。

以上で私からの報告を終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、浅沼が報告します。

今年度は7つの小学校で創立記念式典がございまして、明日の第五小学校ですべて終わることになります。どうぞよろしく願いいたします。内容については割愛させていただきます。

また、7つの小・中学校で研究発表会を予定しておりまして、3学期に入っても、まだ研究発表会が予定されているということですので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、報告をいたします。

10月20日、熊野神社で行われました第4回古墳まつりに出席しました。先ほどご報告ありましたが、あいにくの大雨でして、その中で第五小学校と本宿小学校の児童の「くまじい」と「おくまちゃん」の塗り絵の展示がありまして、優秀な作品について表彰がございました。地域の子供たちをこのような祭りに参加させる中で、将来の後継者あるいは人材育成につながるそのアイデアに感心しました。その後、ふだんは聞くことのできない雅楽の演奏や中国の二胡と琵琶の演奏、そして合唱があり、大変貴重な楽しい時間を過ごすことができました。

それから、10月27日、生涯学習センターで開催されました、これは例年開催されていますけれども、MOA美術館主催の小学生の絵画作品展を参観し、表彰式に出席しまして、お祝いの言葉を述べてまいりました。

10月28日、ウィーンヘルナルス区の訪問団が本宿小学校を訪れる際に同行しまして、夕刻からのレセプションに出席いたしました。時間の関係で本宿小学校での交流会を参観できなかったことは残念でございました。

11月2日、生涯学習センターで開催されている「府中の教育を語る会」に参加しました。今回は、いじめ問題が社会問題化する中で、生徒会リーダー研修会の研修内容を受けての発表と、矢崎小学校の児童の学校紹介を通しての居心地のよい学校づくりの実践が報告されました。

その後、ウィーンヘルナルス区訪問団主催の晚餐会に出席いたしました。訪問された方々の府中市の受け入れに対する感謝の気持ちが伝わり、今後も高校生の交流事業などが続けられ友好が深まることを願っています。

11月4日、第7回小学生のタグラグビー「フォーリスカップ」を観戦しました。報告は先ほどございましたので、割愛させていただきます。

その後、生涯学習センターで開催されました府中市の公共施設に関するシンポジウムに参加しました。公共施設で最も大きな割合を占めるのは学校関係施設でありまして、今後少子高齢

化が進む中で、こうした施設のあり方、今後の進むべき道筋を考える上で大変参考になりました。今後、各学校の校長先生方とも、こういった課題について意見交換や認識を共有する必要があると感じています。

続きまして、11月9日午前中ですが、P連主催の健全育成映画会の開催に当たりあいさつを述べた後、一緒に鑑賞してまいりました。映画は、「夢を生きる テイラー・アンダーソン物語」でございまして、石巻市で震災に遭遇し、帰らぬ人となったALTの半生を描いたドキュメンタリー映画でした。字幕でございまして、小学生にはちょっと難しかったかもしれませんが、家族の絆や人と人とのつながり、より豊かに生きるということを改めて考える上で、この映画はぜひとも中・高校生に見てほしい映画だなという感想を持ちました。

その午後、第一小学校の創立140周年記念式典に参列いたしました。

続きまして、11月10日、府中市社会福祉協議会設立50周年記念式典に参列しました。本協議会には、市内の各小・中学校がボランティア協力校として指定を受け、さまざまなご支援をいただいています。また、夏休みのボランティア教室、福祉体験など、以前から大変意義深い理念を持って小・中学生や高校生に体験の機会をコーディネートし提供していただいております。このような基盤があり本市の職場体験も円滑に進められてきたと考えています。また、式典の後のアトラクションでは、第二小学校のウィンドオーケストラの演奏がありました。演奏も見事でしたが、児童のスピーチの内容と態度が大変立派でございまして、周りから称賛の声が上がりました。続いて、第四中学校の合唱部の合唱があり、記念式典にふさわしい工夫がなされた演出でした。参加者、関係者の方々から大変な好評を得ておりました。

その後、郷土の森総合体育館で行われた第56回府中市民体育大会秋季大会の閉会式に参列いたしました。

続きまして、11月14日ですが、教育委員会訪問がございました。現場に足を運ばないと理解できないことが多々あり、今後の教育施策の立案の参考にしていかなければならないと思いました。

また、その日の夜には、府中地区保護司会主催の中学校生活指導審議会と保護司の懇談会に出席し、あいさつを述べてまいりました。この会には、小学校の生活指導主任会の委員長、高校の校長先生、生活指導主任、保護監察官、児童青少年課などの関係各団体出席し、情報交換、共有してきた研修会でございまして、今回は、関東医療少年院の医務課長の「発達障害等とその指導法」というご講演がありまして、大変意義深い研修会となりました。

それから、11月15日、第十小学校の全国学校体育研究会に参加してまいりました。先ほどご報告がございましたので、割愛させていただきます。

続いて、11月17日、「第一回小学生の税の書道展」の表彰式に参加し、お祝いの言葉を述べてまいりました。小学生への税に対する啓発活動の一環として初めて行われたということですが、大変多くの応募がございまして、これも小学校の校長先生方をはじめ、先生方の地域の方々とともに府中市の子供を育てようという意識のもと、大きな協力のあらわれと受けとめて感謝しております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） それでは、最後に崎山より報告いたします。

10月17日の教育委員会以降の活動について、この間、数多くの行事がありました。各委員となるべく重複を避けて報告いたします。

10月24日、私は学校医なのですが、学校医として就学前健診のため武蔵台小学校に行きました。学校医を務めて既に25年になりますが、以前に比べてアトピーやぜんそくなどの病気を持っている子は減ったように思います。また、予防接種についても、かなりの人が接種を受けていますし、就学時健診で確認し、未接種の者について接種の勧奨ができることはとてもありがたい、助かります。来年2月ごろに再度、学校説明のために保護者は学校を訪れると思いますが、その際にも、ぜひ予防接種、特に健診の時点で未接種だった者に勧奨したMRワクチンの第Ⅱ期の接種を済ませたかどうかを確認していただけるとありがたいです。

今年の春、風疹が流行しました。学校の先生方にも妊婦さんはおられます。妊娠初期に風疹に罹患すると胎児に高頻度で奇形が生じることが知られておりますので、学校の先生方を守るという意味においても、MRワクチンの接種状況の確認をぜひお願いしたいと思います。

10月27日、府中市美術館で、企画展「ウィリアム・モリス 美しい暮らし—ステンドグラス・壁紙・テキスタイル」を鑑賞してまいりました。担当する音ゆみ子学芸員に案内していただき、詩人、思想家であり、工芸家、デザイナーであるウィリアム・モリスが、生活を飾る芸術家であることはとてもよくわかりました。壁紙や室内装飾用の布を中心としたモリスのデザインは、幾何学的で複雑な文様もありますが、生き生きとした自然の草花をそのままパターン化したものも多く、19世紀のイギリス人のデザインでありながら、花鳥風月を好む日本人にも受け入れやすいものでした。とても楽しめる企画展でした。

10月30日、学校医として武蔵台小学校の学校保健委員会で「子どもの睡眠について、基本は早起き」というタイトルで講演しました。多くの先生方にも聞いていただき、早寝早起き、ゲームやテレビなどのメディアとのつき合い方、しっかりと朝ごはんを食べること、それぞれが関連して健康に影響することをお話ししてまいりました。

今年は小学校の周年行事が数多く行われましたが、その中から1つ報告します。

11月7日、第四小学校の140周年記念式典に出席いたしました。今年は式典部分が簡略化される傾向にあり、それは好ましいことですが、簡略した分を生徒が参加する周年行事にしたいという思いが伝わる周年行事でした。校長先生のお話も大部分は生徒向けの内容であり、ハーモニーブリーズの演奏もいつもどおりすばらしいものですが、全校合奏が特にすばらしかったと思います。仲よし学級を含めた1年生から6年生まで全員が参加する周年行事という形をつくり上げるのは、相当な努力が必要だったでしょうけれども、とても立派な式典でした。

以上で私の報告を終わります。

それでは、これで平成25年第11回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

◇

午後2時18分閉会